

NBI（狭帯域光観察）について

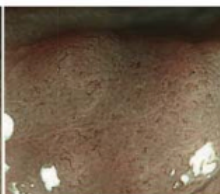
NBIは、血液中のヘモグロビンに吸収されやすい2つの波長の光で照らして観察するため、粘膜表層の毛細血管と微細模様が強調して表示されます。癌は自らを成長させるため血管を増やして栄養分を取り込もうとする特性があり、癌が拡大すると毛細血管が増え粘膜表面の模様が変化するため、このシステムによって病変が認識しやすくなります。つまり、これまでの通常光の観察では気付くことが出来ないような癌も見つけることが可能となり、癌の早期発見の手助けとなります。



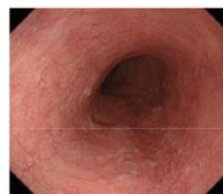
大腸の通常光観察
病変の存在が不明瞭です。



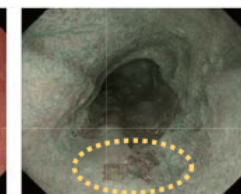
大腸のNBI観察
茶褐色に縁取られた病変が明瞭に描出されております。



大腸のNBI拡大観察
病変部のNBI拡大観察では陥凹部に不整な微小血管が認められます。切除にて早期がんの診断となりました。



食道の通常光観察



NBI観察
食道表在がんの存在が分かりやすくなります。